

第47回「市民の皆さんとランチで対話」概要

団体名	能代青年会議所
開催日時	平成21年7月7日(火) 正午～午後1時
開催場所	市長応接室
出席者	能代青年会議所の皆さん 7人 (能代市:市長 他4人)
案件	2009年度能代青年会議所2大事業に対する市の感想・考え方について 他
会議の概要	<p>( ...能代青年会議所の皆さん ...市長 )</p> <p><b>「まちづくり」「ひとづくり」</b></p> <p>JC(青年会議所)の活動理念は、「まちづくり」「ひとづくり」。「明るい豊かな社会」を築き上げたい。市長にとって「明るい豊かな社会」とはどういったものか。「豊かさ」には2つある。</p> <p>今は「モノ溢れ心貧しき世の中」と言われる。戦後の貧しい時代、諸先達の努力で、世界第二位のGDPを誇るまで「豊か」になった。しかし、本来の「優しさ」「思いやり」、人との「絆」が薄くなった。我々はあまりにも経済を偏重しすぎ、「心」の豊かさを忘れがちになった。「まちづくり」も「モノと人」両方なければ真の「まちづくり」ではない。その意味で、総合計画の市の将来像を「“わ”のまち能代」とした。</p> <p><b>2009年度能代青年会議所2大事業に対する市の感想・考え方について</b></p> <p><b>1「白神かかし」による地域の賑わい創出プラン</b></p> <p>住民主体の地域づくりには、地域コミュニティの活性化、民と官の協力による、防犯・子育て・高齢者支援等の相互扶助の強化が必要。その取り組みが「白神かかし」。「かかし」には“山の守り人・自然の守り神”の意味があり、地域づくりには“田舎らしさ”も必要と着目した。JCメンバーが地域住民がかかしを一緒に作り、地域に立てることで、防犯・防災意識の喚起等「地域コミュニティ」の活性化に活かしたいし、順次、全体に波及することを期待している。</p> <p>「杉」利用の発想と、「白神かかし」というネーミングで、“木都能代”を意識した良い企画であり、学校や地域を巻き込んで取り組むことがいい。地域で一緒にやるのが、地域づくりや地域の活性化に参加するきっかけになると思う。</p> <p>「白神かかし」は足がかり。地域の中でまたアイデアが生まれ、運動のきっかけになるような展開を目指したい。</p> <p>このような取り組みや、伝統(郷土)芸能等地域で一緒にやるのが大事。「世代間交流」もでき、絆が生まれ、地域全体の力になる。その意味でも良い取り組みと思う。</p> <p><b>2ふるさと探訪体験塾 ～ふるさとの伝統を体感しよう～</b></p> <p>「世代間交流」では、旧二ツ井JCの「わんぱく道場」を発展させ「三世代交流事業“ふるさと探訪体験塾”」を企画する。我々も諸先輩方から一緒に教わって、「地域の宝」歴史文化・伝統等を見つめ直し、誇りや愛郷心・思いやりの心を次世代に伝えたいという意図がある。</p> <p>「故郷」への愛着や誇りは、単に生まれ育っただけでなく、歴史や伝統文化等を</p>

学ばなければ生まれない。

それから、「都会より遊ぶ場がない」とよく聞く。確かに遊戯施設はないが、自然(海・山・川)があり、伝統・歴史がある。それを生活にいかせないのは子ども時代「自然の中で遊ぶ」経験がないからでは？小さい時に自然に触れる経験をしたら、もっと自然が身近になると思う。

#### その他

今後のJC活動に関して考えを聞かせてほしい。

JCでは、その独自の活動で地域貢献してくれている。もっとパイプを太くして、情報交換しながら、互いに行政とJCが協力し合いたい。

JCでは、国内で「災害時ネットワーク」システムを構築しており、不測の災害時に瞬時に情報交換し、被災地に対応している。今後、市の災害対策本部等と連携し情報を交換できれば、必要な部分に対応できると思う。

今、市では様々な業種団体と「災害協定」を結んでいる。JCとも協定を結べれば、協力要請できる。その一環に入っただけであれば本当にありがたい。

能代JCはこの地域で58年間活動してきて、市に対しても貢献したいと考えているのでこれからもよろしくお願いしたい。